

平成29年10月24日公表
(令和4年3月4日更新)

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

北海道

目 次

1 要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表	
(1) 要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表(北海道が所管する区域内の建築物) 1
(2) 耐震診断結果公表	
ア 不特定多数の者が利用する大規模建築物	
① 体育館(一般公共の用に供されるもの) 2
② 病院、診療所 3
③ 集会場、公会堂 5
④ 展示場 6
⑤ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗 7
⑥ ホテル、旅館 8
⑦ 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物 16
イ 避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物	
⑧ 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園 18
⑨ 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校 19
⑩ 老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの 64
(3) 附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価 65
(4) 参考 耐震診断結果の見方 67

要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表(北海道が所管する区域内の建築物)

(札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、苫小牧市、江別市の区域を除く。)

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

用 途	公表 建築物数	構造耐力上主要な部分の地震 (震度6強から7程度)に対する安全性(注)			耐震改修 工事中
		I	II	III	
		倒壊・崩壊 の危険性 が高い	倒壊・崩壊 の危険性 がある	倒壊・崩壊 の危険性 が低い	
ア 不特定多数の者が利用する大規模建築物	57	26	6	24	1
① 体育館(一般公共の用に供されるもの)	2	1		1	
② 病院、診療所	8	4	2	2	
③ 集会場、公会堂	6	1	1	4	
④ 展示場	1			1	
⑤ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	1			1	
⑥ ホテル、旅館	23	11	1	10	1
⑦ 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物	16	9	2	5	
イ 避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物	229	2	3	224	
⑧ 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園	1			1	
⑨ 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校	226	2	3	221	
⑩ 老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの	2			2	
合 計	286	28	9	248	1

(注) 1の建築物に構造上独立した部分が複数ある場合などは、安全性の評価が最も低い部分により分類している。建築物毎の詳細は別に示す。

耐震診断結果公表

■ 体育館（一般公共の用に供されるもの）

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	千歳市スポーツセンター	千歳市真町176番地の2	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.76$ (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
2	網走市総合体育館	網走市駒場南1丁目114-2	体育館					法第5条第3項第1号※2
	アリーナ棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.34$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.08$ (0.34)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	管理棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.35$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.98$ (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■病院、診療所

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考						
						内容	実施時期							
1	夕張市立診療所・老人保健施設	夕張市社光6-1	診療所・老人保健施設											
									A棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.80 (1.00) CTU・SD = 0.59 (0.34)	建替え	平成34年供用開始	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
									B棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.70 (1.00) CTU・SD = 0.51 (0.34)	建替え	平成34年供用開始	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
									C棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.32 (1.00) CTU・SD = 0.24 (0.34)	建替え	平成34年供用開始	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
2	独立行政法人 労働者健康安全機構 北海道中央労災病院	岩見沢市4条東16丁目5番地	病院						対象外部分(新耐震):○本館(東棟)(東病棟、手術室、外来診療室)、○管理棟(リハビリテーション科、外来診療室、薬剤部、事務局)、○MRI棟(MRI室、透視室 外来診療室 救急処置室 一般検査					
									本館(西棟)・付属棟①	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.27 (1.00) CTU・SD = 0.22 (0.27)	建替え	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
									本館(西棟)・付属棟②	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.27 (1.00) CTU・SD = 0.16 (0.27)	建替え	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
									本館(西棟)・付属棟③	一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第2次診断法	Is/Iso = 0.55 (1.00) CTU・SD = 0.16 (0.27)	建替え	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
			本館(西棟)・付属棟④	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.40 (1.00) CTU・SD = 1.02 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00						
3	市立美唄病院	美唄市西2条北1丁目1番1号	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 0.93 (1.00) CT・SD = 0.25 (0.30)	建替え	平成32年度～平成33年度							
4	市立三笠総合病院	三笠市宮本町489-1	病院						対象外部分(新耐震):新館					
									本館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.44 (1.00) CTU・SD = 0.36 (0.34)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
			精神病棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.60 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.34)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25						

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■病院、診療所

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	

■病院、診療所

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考						
						内容	実施時期							
5	町立長沼病院(本館)	夕張郡長沼町中央南2丁目95-2他	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.62 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00						
6	栗山赤十字病院	夕張郡栗山町朝日3丁目2番地	病院											
									本館棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.37 (1.00) CTU・SD = 0.27 (0.27)	建替え	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
									増築棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.53 (1.00) CTU・SD = 0.31 (0.27)	建替え	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
7	JA北海道厚生連 倶知安厚生病院(西棟・中央棟)	虻田郡倶知安町北4条東1丁目2番地	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.61 (1.00) CTU・SD = 0.28 (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00						
8	独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院 2号棟	登別市登別温泉町133	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.50 (0.30)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.1 , U= 1.00 老朽化のため、移転建替え設計中						

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

耐震診断結果公表

■集会場、公会堂

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	千歳市民文化センター	千歳市北栄2丁目2番11号	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CT・SD = 0.70 (0.28)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
2	恵庭市民会館	恵庭市新町10番地	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.61 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.34)	耐震改修	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
3	学び交流センター (元紅葉山小学校)	石狩市花川北3条3丁目1	集会場					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟A、屋内体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.73 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎棟B			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.49 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
4	日高町立門別総合町民センター	沙流郡日高町富川東6丁目3-1	集会場、 体育館					法第5条第3項第1号※2
	福祉センター棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 1.01 (0.45)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.50
	スポーツセンター棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.48 (0.45)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.50
5	紋別市民会館	紋別市潮見町1丁目4-3	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.34 (1.00) CTU・SD = 0.21 (0.24)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
6	清水町文化センター	上川郡清水町南3条3丁目	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)※3	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.86 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2 耐震改修工事終了

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

※3 「一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)」を併用

耐震診断結果公表

■展示場

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	洞爺湖観光情報センター	洞爺湖町洞爺湖温泉142	展示場、集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.63$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

耐震診断結果公表

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	長崎屋中標津店	標津郡中標津町東9条北2丁目1番他	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.65$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

耐震診断結果公表

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考							
						内容	実施時期								
1	ファミリースクールひまわり	夕張市鹿の谷山手町18	ホテル												
									校舎棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.61$ (1.00)	(0.27)	補強設計	平成34年度中	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
											$CTU \cdot SD = 0.36$	耐震改修	平成35年度～平成36年度		
									屋内体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s = 0.14$ (0.60)	(1.00)	補強設計	平成34年度中	
		$q = 0.56$	耐震改修	平成35年度～平成36年度											
	柔剣道場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s = 0.51$ (0.60)	(1.00)	補強設計	平成34年度中									
			$q = 2.05$	耐震改修	平成35年度～平成36年度										
2	北海道グリーンランドホテルサンブラザ	岩見沢市4条東1丁目6-1他、5条東1丁目4-1他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00)	(0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2						
3	ホテルスエヒロ	滝川市明神町2丁目2-16	ホテル												
									ホテル棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が非充腹材の場合)	$I_s/I_{so} = 0.44$ (1.00)	(0.25)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=0.993
											$CTU \cdot SD = 0.16$				
	別館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s = 0.28$ (0.60)	(1.00)	未定	未定									
	宴会場棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s = 0.08$ (0.60)	(1.00)	未定	未定									
			$q = 0.33$												

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
4	ホテル三浦華園	滝川市花月町1丁目2番26号	ホテル					対象外部分(新耐震):客室別館
	①棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s = 0.10$ (0.60) $q = 0.42$ (1.00)	未定	未定	
	②棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.57$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.28$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	③棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.77$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.45$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	④棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.50$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.24$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	⑤棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s = 0.35$ (0.60) $q = 1.45$ (1.00)	未定	未定	
5	ホテルグランテラス千歳	千歳市本町4丁目4番地4、4番地7	ホテル					対象外部分(新耐震):別館
	本棟 (ホテル棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	$I_s/I_{so} = 0.81$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.37$ (0.23)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=1.0
	機械棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s = 0.16$ (0.60) $q = 0.66$ (1.00)	未定	未定	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
6	第一滝本館 西館	登別市登別温泉町55番地	ホテル					対象外部分(新耐震):本館棟、佳水館棟、大浴場棟 法第5条第3項第1号※2
	西館1階から10階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.58 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了
	西館B1階、B2階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館北側PH階 X方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館南側PH階 X方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.37 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館下屋B1階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.32 (1.00) CTU・SD = 1.68 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館北側PH階 Y方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 5.94 (1.00) CTU・SD = 3.35 (0.27)	—	—	
	西館南側PH階 Y方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.89 (1.00) CTU・SD = 1.06 (0.27)	—	—	
	西館下屋B2階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 2.51 (1.00)	—	—	
	西館下屋1階 S造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.85 (0.60) q = 1.49 (1.00)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了
7	第一滝本館 東館・南館	登別市登別温泉町55番地	ホテル					対象外部分(新耐震):本館棟、佳水館棟、大浴場棟 法第5条第3項第1号※2
	南館高層棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.27 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了
	南館低層棟				Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.58 (0.27)			
	東館				Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.56 (0.27)			
	厨房棟			一般財団法人建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」(2009年)及び「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2001年)に定める「第2次診断法」	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
8	登別グランドホテル 南館・新本館	登別市登別温泉町154	ホテル					法第5条第3項第1号※2
	新本館・1～9階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.24 (0.23)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=1.0 耐震改修工事終了
	新本館・地下1階 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.66 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	南館・1～6階 (PH1～3階、RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.43 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了
	南館・1～6階 (PH4, 5階、RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.59 (1.00)	—	—	
	南館・1～6階 (PH4, 5階、S造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.75 (0.60) q = 2.98 (1.00)	—	—	耐震改修工事終了
	大浴場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.12 (1.00)	—	—	
9	パークホテル雅亭	登別市登別温泉町100	ホテル					
	第I期・1階～10階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 0.36 (1.00) CTU・SD = 0.18 (0.22)	耐震補強設計	平成31年3月～平成32年2月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=0.972
	第I期・地下1階～地下2階 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.57 (1.00) CTU・SD = 0.33 (0.27)	耐震補強設計	平成31年3月～平成32年2月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	第II期・地下1階～8階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 0.50 (1.00) CTU・SD = 0.17 (0.23)	耐震補強設計	平成31年3月～平成32年2月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=1.0
						耐震改修	平成32年秋～	
						耐震改修	平成32年秋～	
10	望楼 NOGUCHI 登別	登別市登別温泉町 200-1 200-4 200-5 200-6	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が非充腹材の場合)	Is/Iso = 0.46 (1.00) CTU・SD = 0.26 (0.24)	耐震補強設計	平成29年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=0.97
						耐震改修	平成30年～	法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
11	ホテルゆもと登別	登別市登別温泉町29-1	ホテル					法第5条第3項第1号※2
	地下1階・4～8階 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.63 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	1～3階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.52 (0.23)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=1.0
13	洞爺サンパレス 本館 (A・B・C棟)	有珠郡壮瞥町字洞爺湖温泉7番地 1他	ホテル					
	地下1階～10階 (SRC造部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.23)	-	-	耐震改修工事終了
	PH階 (RC造部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.58 (1.00) CTU・SD = 0.92 (0.27)	-	-	耐震改修工事終了

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考						
						内容	実施時期							
14	洞爺湖温泉観光ホテル	洞爺湖町洞爺湖温泉33番地	ホテル					対象外部分(新耐震):パノラマ大浴場棟、宴会場・レストラン棟						
									A棟(東館)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.50 (1.00) CTU・SD = 0.30 (0.27)	耐震補強設計 耐震改修	平成30年度 平成32年度～平成34年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
									B棟(西館)・3～8階(RC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.46 (1.00) CTU・SD = 0.27 (0.27)	耐震補強設計 耐震改修	平成30年度 平成32年度～平成34年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
									B棟(西館)・1,2階(SRC造)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 1.27 (1.00) CTU・SD = 0.59 (0.23)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=1.0
									C棟(調理・バー・従食等)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.88 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.27)	耐震補強設計 耐震改修	平成30年度 平成32年度～平成34年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
									D棟(洞窟温泉)	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.92 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.27)	耐震補強設計 耐震改修	平成30年度 平成32年度～平成34年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
15	洞爺湖畔亭	虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉7-8,7-9,7-16	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 0.64 (1.00) CTU・SD = 0.26 (0.22)	耐震改修等	平成30年	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.97 対象外部分(新耐震):東館						
16	洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス	虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉13番地4他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)、一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 0.54 (0.54) CTU・SD = 0.30 (0.23)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.0 耐震改修工事終了						
17	乃の風リゾート	虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉29-1,29-3,29-5	ホテル					対象外部分(新耐震):東館						
									RC棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.78 (1.00) CTU・SD = 0.45 (0.27)	耐震補強設計 耐震改修	平成29年度 令和2年度～令和3年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
										S棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.01 (0.60) q = 0.01 (1.00)	耐震補強設計 耐震改修	平成29年度 令和2年度～令和3年度
									SRC棟		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 0.32 (1.00) CTU・SD = 0.18 (0.22)	耐震補強設計 耐震改修	平成29年度 令和2年度～令和3年度

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
18	国立日高青少年自然の家	沙流郡日高町富岡	研修施設					
	管理研修棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.65 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	生活関連棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.06 (1.00)	—	—	
19	層雲閣グランドホテル	上川郡上川町字層雲峡未定番地	ホテル					対象外部分(新耐震):アリーナ棟 法第5条第3項第1号※2
	1号館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震補強設計	平成28年3月～平成29年2月	
	A本館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	耐震改修工事中	耐震改修	令和2年5月～令和4年2月	
	B本館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.57 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	調理館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	令和2年5月～令和4年2月	
20	層雲峡観光ホテル	上川郡上川町層雲峡	ホテル					法第5条第3項第1号※2
	本館6～9階(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.39 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	本館・1～5階(SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.23)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt= 1.0 耐震改修工事終了
	別館高層棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.11 (1.00) CTU・SD = 0.64 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	別館低層棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.11 (1.00) CTU・SD = 0.52 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
21	ホテル大雪	上川郡上川町層雲峡	ホテル					法第5条第3項第1号※2
	東館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.58 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	西館A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.56 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	西館B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)※3	Is/Iso = 1.18 (1.00) CTU・SD = 0.33 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
22	十勝川国際ホテル筒井	河東郡音更町字長流枝幹線31番地23,26、字長流枝1番地116,123	ホテル					
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.12 (0.60) q = 0.64 (1.00)	未定	未定	
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.42 (1.00) CTU・SD = 0.27 (0.30)	未定	未定	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
23	ホテル大平原	河東郡音更町十勝川温泉15丁目1番地	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.48 (1.00) CTU・SD = 0.31 (0.30)	耐震改修	未定	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
24	ホテル福原	河東郡鹿追町然別湖畔	ホテル					
	一番館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.19 (1.00) CTU・SD = 0.12 (0.30)	補強設計	令和2年8月～令和3年2月	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
						耐震改修	令和3年7月～令和4年10月	
	二番館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.66 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.30)	補強設計	令和2年8月～令和3年2月	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
耐震改修						令和3年7月～令和4年10月		

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

※3 「一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)」を併用

耐震診断結果公表

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	夕張市役所	夕張市本町4丁目2番地	庁舎					
	本庁舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.32 (1.00) CTU・SD = 0.13 (0.34)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	本庁舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	本庁舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.14 (1.00) CTU・SD = 1.23 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
2	岩見沢市庁舎	岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.25 (1.00) CTU・SD = 0.22 (0.41)	建替設計	平成30年4月～平成31年6月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.50
						建替工事	平成31年11月～平成33年8月	
3	空知合同庁舎	岩見沢市8条西5丁目1番3	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CT・SD = 0.75 (0.30)	—	—	
4	美唄市役所庁舎	美唄市西3条南1丁目1番1号	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.19 (1.00) CTU・SD = 0.16 (0.41)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.50
5	芦別市総合庁舎	芦別市北1条東1丁目3番地	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.23 (1.00) CTU・SD = 0.18 (0.34)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
6	深川市総合庁舎	深川市2条17番17号	庁舎					
	本庁舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.27 (1.00) CTU・SD = 0.24 (0.41)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.50
	本庁舎(塔屋2階)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.12 (0.90) q = 0.12 (1.00)	未定	未定	
7	千歳市庁舎	千歳市東雲町2丁目34番地	庁舎					
	事務棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.72 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 耐震改修工事終了
	市民ホール棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 耐震改修工事終了

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考					
						内容	実施時期						
8	伊達市庁舎	伊達市鹿島町20番地1	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.32 (1.00) CTU・SD = 0.24 (0.34)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25					
9	富良野市庁舎	富良野市弥生町4526-3	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 0.23 (1.00) CT・SD = 0.18 (0.30)	建替え予定	未定						
10	稚内市役所庁舎	稚内市中央3丁目13番15号	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.25 (1.00) CTU・SD = 0.16 (0.30)	建替え	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25					
11	網走市役所 本庁舎	網走市南6条東4丁目	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.11 (1.00) CTU・SD = 0.10 (0.34)	建替設計	令和2年12月～ 令和4年3月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25					
						建替工事	令和4年9月～ 令和6年6月						
12	オホーツク合同庁舎	網走市北6条西3丁目9	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.35 (1.00) CT・SD = 0.82 (0.30)	—	—						
13	紋別市役所庁舎	紋別市幸町2丁目1-18	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.58 (1.00) CTU・SD = 0.30 (0.24)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00					
								庁舎棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.33 (1.00) CTU・SD = 0.54 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
								議会棟	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.72 (1.00) CTU・SD = 0.46 (0.24)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
14	湧別町湧別庁舎	紋別郡湧別町栄町122番地1	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.83 (1.00) CTU・SD = 0.53 (0.30)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25					
15	音更町役場	河東郡音更町元町2番地	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.83 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25 耐震改修工事終了					
16	中標津町役場庁舎	標津郡中標津町丸山2丁目22番地	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.65 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2					

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	学校法人 千歳学園 第2メリー幼稚園	千歳市富丘4丁目598-164、165	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.80$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

耐震診断結果公表

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	夕張市立夕張中学校	夕張市南清水沢3丁目63番地	中学校					
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	体育館棟(鉄骨部分)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.01 (0.70) q = 1.84 (1.00)	—	—	
	体育館棟(鉄骨鉄筋コンクリート部分)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 1.80 (1.00) CT・SD = 0.28 (0.28)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
2	岩見沢市立栗沢中学校	岩見沢市栗沢町南幸穂27番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CT・SD = 0.71 (0.30)	—	—	
3	岩見沢市立東小学校	岩見沢市東町2条7丁目977番地5	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.67 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
4	岩見沢市立美園小学校	岩見沢市美園5条4丁目4番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.12 (1.00) CT・SD = 0.30 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
5	岩見沢市立南小学校	岩見沢市9条東2丁目1番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.69 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
6	美唄市立中央小学校	美唄市西4条北1丁目3番2号	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.76 (0.70) q = 1.39 (1.00)	—	—	
7	美唄市立南美唄小学校(校舎棟)	美唄市南美唄町下18条3	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.83 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
8	芦別市立啓成中学校 校舎棟	芦別市上芦別町263番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.11 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
9	赤平市立赤間小学校 (校舎棟)	赤平市字豊里32番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.15 (1.00) CTU・SD = 0.34 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
10	赤平市立豊里小学校	赤平市豊栄町5丁目18番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.12 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.75 (0.70) q = 1.67 (1.00)	—	—	
11	赤平市立茂尻小学校	赤平市茂尻本町1丁目4番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.11 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.91 (0.70) q = 1.73 (1.00)	—	—	
12	江部乙小学校	滝川市江部乙町東13丁目1426-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.46 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
13	江陵中学校 校舎	滝川市黄金町西1丁目7番18号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
14	滝川第一小学校	滝川市一の坂町西2丁目1番70号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.38 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
15	滝川第二小学校	滝川市滝の川町東1丁目1番45号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
16	西小学校	滝川市西町6丁目7番17号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
17	東小学校	滝川市文京町2丁目1番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
18	明苑中学校	滝川市新町4丁目9番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.15 (1.00) CTU・SD = 0.62 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
19	砂川市立砂川小学校	砂川市西3条南8丁目1番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
20	歌志内中学校	歌志内市字文珠200番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CT・SD = 0.51 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
21	北新小学校	深川市一巳町字一巳2046番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.70) q = 1.42 (1.00)	—	—	
22	南幌中学校	空知郡南幌町栄町3丁目63-1,63-2,63-6,63-7の内,63-8の内,63-9,279-3の内	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
23	奈井江町立奈井江小学校	空知郡奈井江町字奈井江162番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.09 (1.00) CTU・SD = 1.41 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
24	奈井江町立奈井江中学校	空知郡奈井江町字奈井江147番地4	中学校					法第5条第3項第1号※2
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.71 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
25	上砂川中学校	空知郡上砂川町字鶉267番地1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.73 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	渡り廊下及び格技場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.88 (0.70) q = 1.60 (1.00)	—	—	
	体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.77 (0.70) q = 1.40 (1.00)	—	—	
28	長沼町立長沼中央小学校(校舎)	夕張郡長沼町銀座北1丁目376-8	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.20 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
27	長沼町立長沼中学校(校舎棟)	夕張郡長沼町中央南2丁目95-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.17 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
28	栗山小学校	夕張郡栗山町中央3丁目311-1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎①			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎②-1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎②-2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.10 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.56 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
29	月形小学校	樺戸郡月形町字神園町1番地	小学校					
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.62 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Iso = 2.78 (1.00) CT・SD = 0.66 (0.28)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
30	新十津川小学校 (校舎棟)	樺戸郡新十津川町字中央520番地 1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.34 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	管理棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.20 (1.00) CTU・SD = 1.50 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
31	新十津川中学校 (校舎棟)	樺戸郡新十津川町字中央25番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.17 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
32	妹背牛町立小学校	雨竜郡妹背牛町字妹背牛432番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.15 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.83 (0.70) q = 1.71 (1.00)	—	—	
33	妹背牛町立中学校	雨竜郡妹背牛町字妹背牛252番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.13 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.76 (0.70) q = 1.70 (1.00)	—	—	
34	秩父別中学校	雨竜郡秩父別町1536番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.29 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.70) q = 1.32 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
35	雨竜町立雨竜小・中学校	雨竜郡雨竜町字満寿28番地26	小中学校					法第5条第3項第1号※2
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.77 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
36	真竜小学校	雨竜郡北竜町字和10番地1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.22 (1.00) CTU・SD = 0.71 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(鉄骨部)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.78 (0.70) q = 1.59 (1.00)	—	—	
	屋体棟(RC部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.68 (1.00) CTU・SD = 0.39 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
37	北竜中学校	雨竜郡北竜町字板谷150番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.48 (1.00) CTU・SD = 0.46 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(鉄骨部)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.81 (0.70) q = 1.49 (1.00)	—	—	
	屋体棟(RC部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.18 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
38	千歳市立青葉中学校	千歳市豊里4丁目1番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
39	千歳市立桜木小学校	千歳市自由ヶ丘7丁目1番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
40	千歳市立末広小学校	千歳市富丘2丁目6番2号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
41	千歳市立高台小学校	千歳市富丘1丁目19番4号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.73 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
42	千歳市立千歳小学校	千歳市本町3丁目4番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
43	千歳市立千歳中学校	千歳市栄町4丁目35番	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.33 (0.30)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.10 法第5条第3項第1号※2
44	千歳市立富丘中学校	千歳市あずさ1丁目2番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.36 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
45	千歳市立北栄小学校	千歳市北栄1丁目10番2号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.51 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
46	恵庭小学校	恵庭市福住町2丁目9番13	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.45 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
47	恵庭中学校	恵庭市文京町3丁目4番5号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
48	柏小学校	恵庭市文京町3丁目3番3号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.17 (1.00) CTU・SD = 0.87 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
49	恵北中学校	恵庭市中島松230番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
50	恵明中学校	恵庭市黄金北4丁目1番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
51	柏陽中学校	恵庭市柏陽町3丁目265番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
52	若草小学校	恵庭市中島町4丁目5番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.11 (1.00) CTU・SD = 0.35 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
53	和光小学校	恵庭市和光町2丁目10番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.57 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
54	大曲小学校	北広島市大曲柏葉2丁目14番地6	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.71 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
55	北の台小学校	北広島市共栄町4丁目6番地1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.49 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.88 (1.00) CTU・SD = 2.03 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
56	広葉中学校	北広島市広葉町5丁目1番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.69 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
57	東部小学校	北広島市中央4丁目4番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.48 (0.41)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.52 法第5条第3項第1号※2
58	双葉小学校 (旧若葉小学校)	北広島市若葉町3丁目12番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
59	緑ヶ丘小学校 (旧高台小学校)	北広島市高台町2丁目1番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.27 (1.00) CT・SD = 0.52 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
60	緑陽中学校	北広島市緑陽町3丁目4番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.19 (1.00) CTU・SD = 0.55 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
61	花川北中学校	石狩市花川北3条4丁目130	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.43 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
62	花川南小学校	石狩市花川南6条5丁目1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
63	双葉小学校 (旧若葉小学校)	石狩市花川北4条3丁目1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.34 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
64	当別小学校	石狩郡当別町元町102番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.08 (1.00) CTU・SD = 0.72 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
65	当別中学校	石狩郡当別町下川町125番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.22 (1.00) CTU・SD = 0.84 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 1.29 (1.00)	—	—	
66	蘭越小学校 (校舎棟)	磯谷郡蘭越町蘭越町226番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
67	蘭越中学校 (校舎棟)	磯谷郡蘭越町蘭越町514番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.30 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
68	ニセコ小学校	虻田郡ニセコ町字富士見12番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.66 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.94 (0.70) q = 1.72 (1.00)	—	—	
69	京極小学校	虻田郡京極町字三崎91番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.82 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
70	俱知安町立俱知安中学校	虻田郡俱知安町北5条西2丁目	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CT・SD = 0.70 (0.30)	—	—	
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CT・SD = 0.68 (0.30)	—	—	
	体育館棟 (RC部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 4.68 (1.00) CT・SD = 3.42 (0.30)	—	—	
	体育館棟 (S部)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.85 (0.70) q = 1.55 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
71	俱知安町立東陵中学校	虻田郡俱知安町北6条東9丁目2番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	普通教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.30
	ホール棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.35)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.30
	技工科教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.89 (0.70) q = 1.42 (1.00)	—	—	
	体育館棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.73 (0.70) q = 1.33 (1.00)	—	—	
72	共和中学校	岩内郡共和町幌似2119番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.24 (1.00) CTU・SD = 0.45 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
73	東陽小学校	岩内郡共和町国富20-2	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.82 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.75 (0.70) q = 1.66 (1.00)	—	—	
74	岩内第一中学校	岩内郡岩内町字宮園313番地20	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.34 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(S造部分)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.76 (0.70) q = 2.34 (1.00)	—	—	
	屋体棟(RC造部分)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.85 (1.00) CTU・SD = 1.21 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
75	岩内第二中学校	岩内郡岩内町字野東41番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.72 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟 (RC造部分)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.53 (1.00) CTU・SD = 0.56 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟 (S造部分)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.15 (0.70) q = 1.74 (1.00)	—	—	
76	岩内西小学校	岩内郡岩内町字野東172番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.31 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.87 (0.70) q = 1.58 (1.00)	—	—	
77	岩内東小学校	岩内郡岩内町字東山130番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.69 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟 (S造部分)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.70) q = 1.53 (1.00)	—	—	
	屋体棟 (RC造部分)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.01 (1.00) CTU・SD = 1.32 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
78	美国小学校	積丹郡積丹町大字美国町字大沢214	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.13 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.82 (0.70) q = 1.43 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
79	美国中学校	積丹郡積丹町大字美国町字大沢351-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.39 (1.00) CTU・SD = 0.36 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.91 (0.70) q = 1.66 (1.00)	—	—	
80	余市町立大川小学校	余市郡余市町大川町10丁目1番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.28 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
61	余市町立東中学校	余市郡余市町朝日町71番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
82	青葉小学校	登別市青葉町3-3	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.58 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎塔屋棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.18 (1.00)	—	—	
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.17 (0.70) q = 2.13 (1.00)	—	—	
83	西陵中学校	登別市片倉町5丁目12-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CT・SD = 0.76 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
84	富岸小学校	登別市富岸町2丁目17-4	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.70 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	屋内運動場棟(RC造部分)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.59 (1.00) CTU・SD = 0.33 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内運動場棟(S造部分)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.78 (0.70) q = 1.70 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
85	登別小学校	登別市登別本町3丁目25-2	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.70 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	校舎棟中央玄関庇			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.90 (0.70) q = 3.60 (1.00)	-	-	
86	幌別中学校	登別市千歳町3丁目1-3	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.73 (0.30)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 耐震改修工事終了
87	幌別西小学校	登別市片倉町5丁目13	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.32)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 耐震改修工事終了
	校舎2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.45 (0.32)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 耐震改修工事終了
88	若草小学校	登別市若草町1丁目1-2	小学校					法第5条第3項第1号※2
	小学校棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CT・SD = 0.32 (0.30)	-	-	
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.94 (0.70) q = 1.70 (1.00)	-	-	
89	鷺別中学校	登別市鷺別町4丁目36-6	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.17 (1.00) CTU・SD = 0.82 (0.32)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
90	光陵中学校	伊達市館山町49番地1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.35 (1.00)	-	-	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
91	伊達小学校	伊達市元町78番地1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.47 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
92	東小学校	伊達市弄月町207番地1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.19 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
	屋体棟		「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.74 (1.00)	—	—		
93	北海道伊達高等養護学校	伊達市松ヶ枝町105番地13	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CT・SD = 0.85 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
94	シュタイナー学園いずみの学校 (元 豊浦中学校)	虻田郡豊浦町東雲町83-2	小中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.70 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
	屋内体育館 (RC造)		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.26 (1.00) CTU・SD = 0.38 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
	屋内体育館 (S造)		「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 2.18 (1.00)	—	—		
95	壮警中学校	有珠郡壮警町字滝之町420	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.25 (1.00) CTU・SD = 0.86 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17	
	屋体棟		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.19 (1.00) CTU・SD = 1.04 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
96	白老町立白老小学校	白老郡白老町緑丘3丁目1-1	小学校					
	校舎①棟、②棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.71 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎⑧-1棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.22 (1.00) CTU・SD = 0.85 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体④棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.75 (0.70) q = 1.37 (1.00)	—	—	
97	白老町立白老中学校	白老郡白老町東町5丁目3番1号	中学校					
	校舎⑨-1棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.13 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎⑨-2棟、⑨-3棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体⑩-1棟、⑩-2棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.86 (0.70) q = 1.57 (1.00)	—	—	
98	虻田中学校	虻田郡洞爺湖町入江190	中学校					
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.55 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.78 (0.70) q = 1.33 (1.00)	—	—	
99	安平町立追分小学校	勇払郡安平町追分柏が丘22番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.36 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.53 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
100	安平町立早来中学校	勇払郡安平町早来北進92番地9	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎-1棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.67 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎-2棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.28 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 1.09 (1.00)	-	-	
101	日高町立厚賀小学校	沙流郡日高町字厚賀町139-2	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎 A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CT・SD = 0.77 (0.30)	-	-	
	校舎 B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.26 (1.00) CT・SD = 1.23 (0.30)	-	-	
	校舎 C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.60 (1.00) CT・SD = 0.59 (0.30)	-	-	
	校舎 D棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CT・SD = 0.82 (0.30)	-	-	
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.93 (0.70) q = 1.70 (1.00)	-	-	
102	日高町立厚賀中学校	沙流郡日高町字厚賀町216-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.30)	-	-	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.80 (0.70) q = 1.51 (1.00)	-	-	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
103	日高町立富川小学校	沙流郡日高町富川東1丁目1-1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	B棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.95 (0.70) q = 1.73 (1.00)	—	—	
	C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
104	日高町立富川中学校	沙流郡日高町富川北7丁目3-6	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CT・SD = 0.57 (0.30)	—	—	
	屋体棟(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.75 (0.70) q = 1.60 (1.00)	—	—	
	屋体棟(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.89 (1.00) CT・SD = 0.77 (0.30)	—	—	
105	日高町立日高小学校	沙流郡日高町松風町2丁目254番地の1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.30 (1.00) CTU・SD = 0.97 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 2.19 (1.00)	—	—	
	屋体棟(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.25 (1.00) CTU・SD = 1.15 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
106	日高町立門別小学校	沙流郡日高町字緑町26-4	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.62 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟 (S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.89 (0.70) q = 1.43 (1.00)	—	—	
	屋体棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.88 (1.00) CTU・SD = 0.71 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
107	日高町立門別中学校	沙流郡日高町門別本町239-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.17 (1.00) CTU・SD = 0.87 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.27 (1.00) CTU・SD = 1.70 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎D棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.71 (1.00) CTU・SD = 0.49 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎E棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.94 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.17 (1.00)	—	—	
108	平取小学校	沙流郡平取町本町105番地6	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.87 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.97 (0.70) q = 1.81 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
109	平取中学校	沙流郡平取町本町116番地3	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.30 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.70) q = 1.33 (1.00)	—	—	
110	新冠小学校	新冠郡新冠町字中央町134番地・135番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.38 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
111	新冠中学校	新冠郡新冠町字北星町21番地の2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CT・SD = 0.38 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
112	えりも中学校	幌泉郡えりも町字新浜207	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
113	新ひだか町立高静小学校	日高郡新ひだか町静内こうせい町2丁目9番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.69 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
114	新ひだか町立静内小学校	日高郡新ひだか町静内緑町3丁目5番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.55 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
115	新ひだか町立山手小学校	日高郡新ひだか町静内山手町5丁目16番1号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
116	大野中学校	北斗市本町554-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.20 (1.00) CTU・SD = 1.62 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎B・F			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.92 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎D			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.66 (1.00) CTU・SD = 1.11 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎E			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.66 (1.00) CTU・SD = 0.46 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎C			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.84 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.70) q = 1.51 (1.00)	—	—	
117	上磯小学校	北斗市中野通200番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎C			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.68 (1.00) CTU・SD = 0.82 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎D			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.08 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎A			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎B			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
118	浜分小学校	北斗市追分1丁目11-31	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.59 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
119	木古内中学校	上磯郡木古内町字木古内194-5	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.08 (1.00) CT・SD = 0.55 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
120	北海道七飯養護学校	亀田郡七飯町鳴川5丁目267-11	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.49 (1.00) CTU・SD = 0.98 (0.30)	—	—	
121	七飯中学校	亀田郡七飯町本町6丁目9番1号	中学校					法第5条第3項第1号※2
	13-1棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	13-3棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	13-2棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
122	鹿部中学校校舎	茅部郡鹿部町字宮浜281番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.70 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
123	森町立砂原中学校	茅部郡森町字砂原2-188-14	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A (②棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.72 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎B (①-1棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.72 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
124	森町立森中学校 (校舎棟)	茅部郡森町字上台町326-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.72 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
125	熊石中学校 (旧熊石第一中学校)	二海郡八雲町熊石雲石町492番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.82 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.97 (0.75) q = 1.76 (1.25)	—	—	
126	長万部中学校 (1線校舎)	山越郡長万部町字栄原138番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.30 (1.00) CTU・SD = 0.91 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
127	江差町立江差小学校 (校舎)	檜山郡江差町字本町170番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
128	厚沢部小学校	檜山郡厚沢部町新町104番地1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.04 (1.00)	—	—	
	屋内体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.87 (0.70) q = 1.86 (1.00)	—	—	
129	厚沢部中学校	檜山郡厚沢部町新町250番地6	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.05 (1.00)	—	—	
	屋内体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.57 (0.70) q = 2.70 (1.00)	—	—	
130	今金中学校	瀬棚郡今金町字今金445-6	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.59 (1.00) CTU・SD = 0.35 (0.32)	建替え	平成33年4月～ 平成35年3月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
131	久遠小学校 (旧大成中学校) 校舎棟	久遠郡せたな町大成区都366番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.35 (1.00) CTU・SD = 0.53 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
132	瀬棚中学校 校舎棟	久遠郡せたな町瀬棚区共和404番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.71 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
133	士別南小学校	士別市東4条14丁目	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎棟2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎棟3			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.46 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.81 (0.70) q = 1.20 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
134	名寄中学校	名寄市字豊栄101-1	中学校					対象外部分(新耐震):校舎3
	校舎1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.20 (1.00) CTU・SD = 0.20 (0.30)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.32 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.30)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.11 (0.70) q = 0.33 (1.00)	未定	未定	
135	名寄東中学校	名寄市西2条北8丁目	中学校					対象外部分(新耐震):体育館
	校舎1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.69 (1.00) CTU・SD = 0.52 (0.30)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	校舎2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.60 (1.00) CTU・SD = 0.45 (0.30)	未定	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
136	富良野小学校	富良野市若松町8-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CT・SD = 0.35 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
137	富良野東中学校	富良野市瑞穂町1-30	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.46 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
138	鷹栖町立鷹栖小学校	上川郡鷹栖町北1条1丁目 749-2-3-6-8	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
139	北海道鷹栖養護学校	上川郡鷹栖町北野西3条2丁目1-1	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.47 (1.00)	—	—	法第5条第3項第1号※2
140	東神楽小学校	上川郡東神楽町南3条東1丁目	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.35 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 1.38 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
141	比布町立比布中学校	上川郡比布町北2線8号1399-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.61 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.89 (0.70) q = 1.61 (1.00)	—	—	
142	愛別小学校 校舎棟	上川郡愛別町字北町327番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.12 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
143	愛別中学校 校舎棟	上川郡愛別町字東町221番地1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.53 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.23 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第1次診断法により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.38 (1.00)	—	—	
144	上川小学校	上川郡上川町新町379-1、380	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 1.66 (1.00)	—	—	
145	東川中学校	上川郡東川町北町1丁目5番1号	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.80 (0.70) q = 1.56 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
146	美瑛小学校	上川郡美瑛町西町2丁目8509	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.12 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.35 (1.00)	—	—	
147	美瑛中学校	上川郡美瑛町字美瑛原野355-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.20 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.80 (0.70) q = 1.45 (1.00)	—	—	
148	美瑛東小学校	上川郡美瑛町丸山2丁目8番15号	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.84 (0.70) q = 1.53 (1.00)	—	—	
149	上富良野中学校 校舎	空知郡上富良野町旭町1丁目1番5号	中学校					対象外部分(新耐震):体育館棟、特別教室棟① 法第5条第3項第1号※2
	管理・普通教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.12 (1.00) CTU・SD = 0.61 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	特別教室棟②			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.60 (1.00) CTU・SD = 1.12 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.85 (1.00) CTU・SD = 0.62 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
150	中富良野小学校	空知郡中富良野町北町8番8号	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.85 (1.00) CTU・SD = 1.30 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎棟2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎棟3			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.08 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	講堂棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
151	中富良野中学校	空知郡中富良野町南町9番19号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
152	剣淵小学校	上川郡剣淵町西町23番1号	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟その1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.63 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎棟その2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.30 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.79 (0.70) q = 2.09 (1.00)	—	—	
153	剣淵中学校	上川郡剣淵町西町20番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.31 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
154	下川小学校	上川郡下川町西町 40番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.48 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.89 (0.70) q = 1.61 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
155	下川中学校	上川郡下川町南町417番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.13 (1.00) CT・SD = 0.79 (0.30)	—	—	
	屋内体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.61 (1.00)	—	—	
156	美深小学校	中川郡美深町字敷島108番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.86 (0.70) q = 1.56 (1.00)	—	—	
157	中川中学校	中川郡中川町字中川	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.19 (1.00) CTU・SD = 0.51 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.75 (0.70) q = 1.73 (1.00)	—	—	
158	留萌市立港南中学校	留萌市沖見町2丁目136～138、140～141	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.71 (1.00)	—	—	法第5条第3項第1号※2
159	留萌市立東光小学校	留萌市住之江町4丁目73番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.08 (1.00) CTU・SD = 0.65 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
160	苫前町立古丹別中学校	苫前郡苫前町字古丹別237番地の4	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.28 (1.00) CT・SD = 0.77 (0.30)	—	—	
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.18 (0.70) q = 1.34 (1.00)	—	—	
161	羽幌中学校	苫前郡羽幌町北5条3丁目2番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.10 (1.00) CTU・SD = 0.42 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
162	遠別町立遠別中学校	天塩郡遠別町字幸和405-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 1.24 (1.00)	—	—	
	屋内体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.85 (0.70) q = 1.30 (1.00)	—	—	
163	稚内市立潮見が丘小学校	稚内市富岡4丁目3番3号	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎1棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.21 (1.00) CTU・SD = 0.70 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎2, 3-1棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.60 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.30 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.77 (0.70) q = 1.41 (1.00)	—	—	
164	稚内市立天北小中学校	稚内市声間村沼川	小中学校					法第5条第3項第1号※2
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.22 (1.00) CT・SD = 0.42 (0.30)	—	—	
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.12 (1.00) CT・SD = 0.37 (0.30)	—	—	
	屋体棟(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 3.41 (1.00) CTU・SD = 2.02 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.72 (0.70) q = 1.30 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
165	稚内市立稚内中学校	稚内市宝来5丁目7-31	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎①特別・普通教室棟(棟23)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.19 (1.00) CTU・SD = 0.73 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎②管理・普通教室棟(棟24・28-1・28-2)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.46 (1.00) CTU・SD = 0.28 (0.24)	建替え	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎③管理・普通教室棟(棟29・30)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.62 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.24)	建替え	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館棟(棟32)(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.23 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館棟(棟32)(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.05 (0.70) q = 0.09 (1.00)	建替え	未定	
	渡り廊下棟(棟33)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.76 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.24)	建替え	未定	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
166	稚内市立稚内港小学校	稚内市港4丁目94	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎南棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.21 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎中央棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.61 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎北棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.64 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.64 (1.00) CTU・SD = 0.49 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.75 (0.70) q = 1.74 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
167	稚内市立稚内南中学校	稚内市緑1丁目2561	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.62 (0.24)	—	—	耐震改修工事完了
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.17 (1.00) CTU・SD = 0.70 (0.24)	—	—	耐震改修工事完了
	校舎C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.33 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.30 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.78 (0.70) q = 2.40 (1.00)	—	—	耐震改修工事完了
	渡り廊下棟(E棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第2次診断法	Is/Iso = 1.33 (1.00) CTU・SD = 0.51 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
168	浜頓別小学校	枝幸郡浜頓別町旭ヶ丘3丁目15番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	管理棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.46 (1.00) CTU・SD = 0.39 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	普通教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.10 (1.00) CTU・SD = 0.36 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
169	枝幸町立歌登小学校	枝幸郡枝幸町歌登西町124番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.60 (1.00) CTU・SD = 0.42 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.32 (1.00) CTU・SD = 0.48 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体1			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.77 (0.70) q = 1.40 (1.00)	—	—	
	屋体2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.77 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体3			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.21 (1.00) CTU・SD = 0.66 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
170	枝幸町立歌登中学校	枝幸郡枝幸町歌登桧垣町136番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎1			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.13 (1.00) CTU・SD = 0.51 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎2			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 3.05 (1.00) CTU・SD = 0.63 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.96 (0.70) q = 1.74 (1.00)	—	—	
171	枝幸町立枝幸小学校	枝幸郡枝幸町新栄町627番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟①			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.28 (0.27)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.10
	校舎棟②			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.34 (1.00) CTU・SD = 0.87 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
172	枝幸町立枝幸中学校	枝幸郡枝幸町栄町611番地1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.64 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.95 (0.70) q = 1.83 (1.00)	—	—	
173	幌延小学校	天塩郡幌延町東町25番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.49 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.21 (1.00) CTU・SD = 0.89 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
174	網走市立網走小学校	網走市桂町1丁目1番1号	小学校					法第5条第3項第1号※2
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	B・C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
175	網走市立潮見小学校	網走市潮見4丁目111番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	A・B・C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.99 (0.70) q = 1.81 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
176	網走市立第三中学校	網走市潮見188番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	管理棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.30 (1.00) CTU・SD = 0.96 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
177	潮見小学校	紋別市潮見町3丁目8-12	小学校					法第5条第3項第1号※2
	①校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.19 (1.00) CTU・SD = 0.26 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	②校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.67 (1.00) CTU・SD = 0.46 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
178	紋別小学校	紋別市花園町5丁目4-15	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.64 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.78 (0.70) q = 1.43 (1.00)	—	—	
179	美幌町立旭小学校	網走郡美幌町稲美140番地の2	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.74 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎棟(増築)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.25 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
180	美幌町立美幌中学校	網走郡美幌町字稲美130番地の5	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CT・SD = 0.53 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
181	訓子府小学校	常呂郡訓子府町仲町65番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.10 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
182	置戸中学校	常呂郡置戸町字拓殖47番地の1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.18 (1.00) CTU・SD = 0.87 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.83 (0.75) q = 1.26 (1.25)	—	—	
183	佐呂間中学校	常呂郡佐呂間町字幸町9番地の1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	管理・教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.67 (1.00)	—	—	
	特別教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25
184	浜佐呂間小学校	常呂郡佐呂間町字浜佐呂間167番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.33 (1.00) CTU・SD = 0.93 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.87 (0.70) q = 1.19 (1.00)	—	—	
185	遠軽町立生田原小学校	紋別郡遠軽町生田原710番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.29 (1.00) CTU・SD = 0.84 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
186	遠軽町立遠軽中学校	紋別郡遠軽町大通北5丁目2番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.18 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
187	遠軽町立南小学校	紋別郡遠軽町南町3丁目4番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.37 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
188	上湧別小学校	紋別郡湧別町上湧別屯田市街地98番地の4	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.10 (1.00) CTU・SD = 0.66 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体 (アリーナ部分)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.91 (0.70) q = 1.96 (1.00)	—	—	
189	中湧別小学校	紋別郡湧別町中湧別南町914番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.30 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.70) q = 1.64 (1.00)	—	—	
190	湧別小学校	紋別郡湧別町錦町221-1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.66 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.76 (0.70) q = 1.37 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
191	滝上小学校	紋別郡滝上町字滝ノ上原野2線北3番地	小学校					
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.28)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体			建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第一号に定める建築物の耐震診断の方法	Iw = 1.15 (1.10)	—	—	
192	滝上中学校	紋別郡滝上町字滝ノ上原野2線3番地	中学校					
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.64 (0.30)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋体			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 1.03 (0.70) q = 1.87 (1.00)	—	—	
193	雄武中学校	紋別郡雄武町字雄武1490番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟(1期)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.21 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎棟(2期)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.12 (1.00) CTU・SD = 1.32 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.75 (0.70) q = 1.79 (1.00)	—	—	
	屋体棟(RC棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.92 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.24)	—	—	Z= 0.8 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
194	大空町立女満別中学校	網走郡大空町女満別東陽3丁目83番地の2	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.61 (0.32)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内運動場棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.21 (0.70) q = 2.21 (1.00)	—	—	
195	木野東小学校	河東郡音更町木野東通5丁目6番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.73 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 1.22 (1.00)	—	—	
196	緑南中学校	河東郡音更町字下土幌北2線東25番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.87 (0.70) q = 1.04 (1.00)	—	—	
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 1.22 (1.00)	—	—	
197	鹿追町立鹿追中学校	河東郡鹿追町鹿追北4線8番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.35 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	体育館棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.35 (1.00)	—	—	
198	屈足南小学校	上川郡新得町屈足柏町2丁目63	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
199	新得小学校	上川郡新得町西2条北1丁目1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
200	清水小学校	上川郡清水町字清水第2線71	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.85 (0.70) q = 1.56 (1.00)	—	—	
201	清水中学校	上川郡清水町本通11丁目2番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.35 (1.00)	—	—	
202	芽室小学校	河西郡芽室町東4条南2丁目1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.13 (1.00) CTU・SD = 0.85 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
203	芽室中学校	河西郡芽室町東6条南3丁目1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎(A棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎(B棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.82 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	渡り廊下(C棟)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.08 (0.70) q = 1.97 (1.00)	—	—	
	屋内体育館(D棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.34 (1.00) CTU・SD = 0.99 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館(E棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
204	芽室西小学校	河西郡芽室町西3条6丁目2	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.38 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内体育館(C棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.47 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
205	大樹中学校	広尾郡大樹町鏡町1番地1	中学校					
	校舎Ⅰ			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.35 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎Ⅱ			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.35 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎Ⅲ			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.38 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
206	広尾小学校	広尾郡広尾町公園通南4丁目9番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Is _o = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.30)	—	—	
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.92 (0.70) q = 2.18 (1.00)	—	—	
207	札内中学校	中川郡幕別町札内文京町29-1	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.55 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.96 (0.90) q = 2.48 (1.00)	—	—	
208	札内南小学校	中川郡幕別町札内文京町29-1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.51 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.09 (1.00)	—	—	
209	幕別小学校	中川郡幕別町緑町26番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.69 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.71 (0.70) q = 1.29 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
210	池田小学校	中川郡池田町字西3条7丁目	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.40 (1.00) CTU・SD = 1.04 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎B			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.73 (1.00) CTU・SD = 0.51 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
211	豊頃中学校	中川郡豊頃町中央若葉町11番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	普通教室棟校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	特別教室棟校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.12 (1.00) CTU・SD = 0.83 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体(S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.92 (0.70) q = 1.68 (1.00)	—	—	
	屋体(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.18 (1.00) CTU・SD = 0.86 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.37 (1.00) CTU・SD = 0.55 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
212	本別中央小学校	中川郡本別町弥生町22	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.79 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎C棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.08 (1.00) CTU・SD = 0.81 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎D棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.39 (1.00) CTU・SD = 0.39 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	体育館			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.76 (0.70) q = 1.36 (1.00)	—	—	
213	足寄小学校	足寄郡足寄町南6条3丁目1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.45)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.50 法第5条第3項第1号※2
214	陸別中学校	足寄郡陸別町字陸別原野基線334番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎Z1棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.76 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	校舎Z2棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.73 (0.70) q = 1.50 (1.00)	—	—	
215	浦幌町立浦幌小学校	十勝郡浦幌町字住吉町1番地1	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎(A棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.35 (1.00) CTU・SD = 1.01 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎(B棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎(C棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
216	富原小学校(校舎)	釧路郡釧路町富原2番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
217	厚岸町立厚岸中学校	厚岸郡厚岸町梅香1丁目5番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.04 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.35)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.17 法第5条第3項第1号※2
218	標茶町立標茶中学校	川上郡標茶町常盤9丁目1番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.78 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
219	根室市立啓雲中学校	根室市駒場町2丁目12番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内運動場棟、渡り廊下棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.72 (0.70) q = 2.00 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
220	根室市立光洋中学校	根室市光洋町2丁目12番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	普通教室棟、便所棟、管理棟、特別教室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.63 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館、渡り廊下A、B、C棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.74 (0.70) q = 1.09 (1.00)	—	—	
221	根室市立成央小学校	根室市光洋町1丁目25番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.41 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.84 (0.70) q = 2.12 (1.00)	—	—	
222	根室市立花咲小学校	根室市栄町1丁目1番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎A、B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 0.63 (1.00) CTU・SD = 0.49 (0.30)	未定	未定	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内運動場棟、渡り廊下1～3棟			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.68 (0.70) q = 1.26 (1.00)	未定	未定	
223	根室市立歯舞中学校	根室市歯舞3丁目179番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.80 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 1.00 (0.70) q = 1.82 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
224	根室市立北斗小学校	根室市北斗町3丁目5番地	小学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎①、②-1・②-2・⑬、③-1、③-2・③-3・③-4棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	校舎⑬、⑭、⑮棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.91 (0.70) q = 3.64 (1.00)	—	—	
	屋体棟⑤-1・⑤-2・⑤-3棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.17 (1.00) CTU・SD = 0.65 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋体棟⑤-1・⑤-2・⑤-3棟 (S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.97 (0.70) q = 1.77 (1.00)	—	—	
225	別海中央小学校	野付郡別海町別海旭町436番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	Is/Iso = 1.54 (1.00) CT・SD = 1.02 (0.30)	—	—	法第5条第3項第1号※2
226	中標津町立広陵中学校	標津郡中標津町東10条南7丁目1番地	中学校					法第5条第3項第1号※2
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.13 (1.00) CTU・SD = 0.91 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内運動場棟 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 3.89 (1.00) CTU・SD = 3.12 (0.38)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.25
	屋内運動場棟 (S造)			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	Is = 0.77 (0.75) q = 1.39 (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

耐震診断結果公表

■老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	千歳市総合福祉センター	千歳市東雲町2丁目34番地	児童福祉施設等、集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.73$ (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 法第5条第3項第1号※2
2	渡島リハビリテーションセンター	茅部郡鹿部町字鹿部258番地の7	福祉施設	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.09$ (1.00) $CTU \cdot SD = 0.64$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

※下記Ⅰ～Ⅲの安全性の評価は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、
 震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

- Ⅰ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
- Ⅱ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
- Ⅲ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震(震度6強から7程度)に対する安全性		
	Ⅰ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する <u>危険性が高い</u>	Ⅱ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する <u>危険性がある</u>	Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する <u>危険性が低い</u>
建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第一号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_w < 0.7$	$0.7 \leq I_w < 1.0$	$1.0 \leq I_w$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	—	—	$1.0 \leq I_s/I_{so}$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CT \cdot SD < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq CT \cdot SD \leq 1.25$
			$1.25 < CT \cdot SD$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CTU \cdot SD < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq CTU \cdot SD$

一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CT \cdot SD < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq CT \cdot SD$
	鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CT \cdot SD < 0.14 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq CT \cdot SD$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CTU \cdot SD < 0.125 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq CTU \cdot S$
	鉄骨が非充腹材の場合	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CTU \cdot SD < 0.14 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot Rt \cdot G \cdot U \leq CTU \cdot S$
一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」		$Q_u/\alpha \cdot Q_{un} < 0.5$	$0.5 \leq Q_u/\alpha \cdot Q_{un} < 1.0$	$1.0 \leq Q_u/\alpha \cdot Q_{un}$ かつ $GIs < 1.0$
				$1.0 \leq GIs$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第1次診断法により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法		—	—	$1.0 \leq I_s/I_{so}$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」に定める第2次診断法		$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $CTU \cdot SD < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq CTU \cdot SD$

参考 耐震診断結果の見方

建築物の耐震診断とは、震度6強から震度7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を評価することをいい、附表の「構造耐力上主要な部分の地震（震度6強から7程度）に対する安全性」欄における評価Ⅲの耐震性能は、現行の建築基準法令における耐震基準（昭和56年6月施行の「新耐震基準※」）と同程度とされています。また、いずれの評価（Ⅰ～Ⅲ）に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはありません。

※新耐震基準：建築物が数十年に一度程度発生する中規模地震（震度5強程度）に対してほとんど損傷しないことの検証に加えて、数百年に一度程度発生する大規模地震（震度6強から7に達する程度）に対して倒壊・崩壊しないことを検証する耐震基準

用語の解説

Is、Gls：建築物の耐震性を表す指標値（構造耐震指標値）

Is/Iso：建築物の構造耐震指標値（Is値）を判定指標値（Iso）と比較し、耐震性を判定した値

Iw：木造に適用される構造耐震指標値

CTU・SD、CT・SD：主に鉄筋コンクリート造に適用される保有水平耐力に係る指標値

q：主に鉄骨造に適用される保有水平耐力に係る指標値

Z：地域の地震活動度などによる補正係数

G：表層地盤の増幅特性などによる補正係数

U：建物の用途などによる補正係数

Rt：建築物の固有周期および地盤の種別に応じた当該建築物の振動特性により、地震力の値を変化させる係数

S造：鉄骨造

RC造：鉄筋コンクリート造

SRC造：鉄骨鉄筋コンクリート造

要安全確認計画記載建築物：北海道耐震改修促進計画に記載された建築物（避難所）

耐震診断結果公表

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果（目標値）※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	□□□	□□市□□	□□	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.07 (1.00) CTU・SD = 0.75 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G=1.0 , U=1.00 法第5条第3項第1号※2
2	△△△	△△町△△	△△	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が非充腹材の場合)	Is/Iso = 0.82 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.26)	建替え	平成31年4月～平成33年3月	Z= 0.9 , G=1.0 , U=1.00 , Rt=1.00

附表において、「耐震診断の方法の名称」が同じものを見つけます。

評価の結果と附表による安全性の基準値を比較することで評価（Ⅰ～Ⅲ）が判断できます。なお、評価結果の全てが目標値以上の場合、評価Ⅲとなります。

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

※下記Ⅰ～Ⅲの安全性の評価は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

Ⅰ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い
Ⅱ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある
Ⅲ 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震（震度6強から7程度）に対する安全性		
	Ⅰ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	Ⅱ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある	Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso < 0.5 又は CTU・SD < 0.15・Z・G・U	左右以外の場合	1.0 ≤ Is/Iso かつ 0.3・Z・G・U ≤ CTU・SD
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版) 鉄骨が非充腹材の場合	Is/Iso < 0.5 又は CTU・SD < 0.14・Z・Rt・G・U	左右以外の場合	1.0 ≤ Is/Iso かつ 0.28・Z・Rt・G・U ≤ CTU・SD